

みんなの町議会

迎春

目次

- 12月定例会の経過・年頭のあいさつ … 2～3
- 常任委員会の焦点 …… 4～5
- 一般質問に6名登壇 …… 6～11
- 映像配信システムが稼動 …… 12
- 議員研修報告・全員協議会 …… 13
- 請願・陳情・意見書送付 …… 14
- あれ なんと なったべが！ …… 15
- 励ましの人・がんばってます …… 16

No.117

2014年1月1日

12月 定例会

幼保連携型認定こども園 4月から運営開始

議会の経過

12月定例会は12月9日から13日までの5日間の日程で開かれた。

一般質問には6名が登壇し、防災減災対策、公共施設更新問題、街路樹の維持管理、除雪の対応、消防広域化の今後の見通し、高齢者支援などを質問した。提出案件は平成25年度一般・特別各会計補正予算案、消費税率引き上げに伴う関係条例の整備に関する条例制定案など17件。

渡邊町長は行政報告で「幼保を一体化し、社会福祉法人キッズもりやまによる幼保連携型認定こども園を、26年4月1日より運営する」と述べた。

各常任委員会の審査を行い、最終日は各常任委員長報告の後、町議会委員会条例に基づ

く調査特別委員会の設置を求める動議は否決。全議案を全会一致で可決した。

人権擁護委員推薦案に同意、陳情5件と請願1件を採択、陳情1件を継続審査とした。委員会提出議案5件と議員提出議案「年金2・5%の削減中止を求める意見書」などを可決し閉会した。



年頭のあいさつ

絆を深め、前進する年に

議長 小林 正志



あけましておめでとございます。町民の皆様におかれましては、夢と希望に満ち溢れる新年をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

さて、今年の5月には町民待望の湖東厚生病院が新築オープンいたします。規模は若干縮小となりましたが、その全貌が現れており地域医療を担う役割りと期待は大きなものがあります。「地域のみんなの病院」として支えていきたいものです。

10月には本町に於いて「国民文化祭の朝市サミット」の開催が決定しております。わが町を全国に売り込む絶好の機会と捉えており、町民の皆様の御支援と御協力をお願いいたします。

議会では昨年の12月定例会から「映像配信システム」を導入し、役場庁舎内にはリアルタイムで議場の様子が配信されるようになりました。これまで庁舎四階に詰めていた職員は、事務作業をしながら議会の動きに対応できるようになりました。町民サービスの向上に繋がるものと思っております。町ホームページで録画中継も配信されており、町民の皆様の視聴を願うものであります。今後も議会改革に鋭意取り組み「開かれた議会」へと努力してまいります。

皆様からの御意見・御要望をお待ちいたしております。町民の皆様が、健康で幸多い年であることを御祈念申し上げます。年頭の御挨拶いたします。



消防庁舎建設に係る調査特別委員会設置の 動議を2議員が提出

動議は反対多数で否決

本会議で、澤田石亀雄議員は、町民から消防庁舎建設に係る情報公開の請求が出されていたのに町が対応していない。建設予定地に関する明確な資料がないなどの質問をした。当局は、町民からの情報開示請求の内容は、消防庁舎建設に関する全部の資料の提出であったが、広範囲で膨大資料なので内容を絞って請求してほしいと告げた。その後、開示請求した方は連絡も来庁もなかったと答弁があった。澤田石亀雄議員他1名から、消防庁舎建設に係る調査特別委員会設置を求める動議が提出された。

動議に賛成の議員

館岡 隆・工藤 卓美・澤田石亀雄

動議に反対の議員

佐々木仁茂・齋藤 晋・石井 光雅
佐藤 慶彦・畑澤 洋子・伊藤 正春
荒川 達雄・佐藤 重信・荒川 正己
千田 峯夫・石川 交三・佐藤 成孝
動議は賛成3、反対12（定数16、議長を除く）で否決された。



建設用地のボーリング調査

継続審査の

**「年金2.5%削減中止を求める」
陳情が本会議で採択**

全日本年金者組合湖東支部から3月定例会で提出され、継続審査となっていた「年金2.5%の削減中止を求める」陳情について、付託された教育民生常任委員会では、過去の特例措置で、高齢者が本来よりも高い公的年金を受け取っていたとし、昨年の年金法一部改正が国会で可決している。このことによりすでに10月から年金削減が実施されているので不採択すべきとの意見が出たことから、採決となり賛成多数で不採択となった。

最終日、教育民生常任委員長の報告後、石川交三議員から灯油など生活必需品の値上げ、社会保険料の増額などで年金受給者である高齢者は、厳しい生活を余儀なくされている。また我が町にとっても経済的マイナスの影響避けられない状況を考えたとき、陳情の趣旨を汲み取り採択すべきと述べ、採決となった。

起立採決の結果、賛成者多数で採択された。

陳情採択に賛成の議員

佐々木仁茂・齋藤 晋
畑澤 洋子・佐藤 重信
荒川 正己・千田 峯夫
石川 交三・佐藤 成孝

陳情採択に反対の議員

石井 光雅・佐藤 慶彦
伊藤 正春・荒川 達雄
館岡 隆・工藤 卓美
澤田石亀雄

補正の主なもの

補正予算案は2億635万円
円で累計は58億3,986万円。

消防署のサイレン修繕費122万円。70歳以上の高齢者世帯や母子・父子世帯を対象にした1世帯5千円の灯油購入補助券配布事業費414万円、磯ノ目第2、第3公園の松くい虫防除委託料126万円、除雪費7,520万円が主なもの。

**第3回
臨時会
10月4日**

25年度一般会計、簡易水道事業特別会計の補正予算を可決し閉会した。
一般会計補正予算は2億6,246万円。
累計56億3,351万円。
7月の豪雨と9月の台風18号での農地、農業用施設の復旧費1億3,508万円、林道の復旧費3,154万円など。

**人権擁護委員
推薦に同意**

新任 嶋崎 和良さん
(61歳)



下樋口

(佐々木仁茂)

教育民生 常任委員会

五一中屋根雪下ろしに79万円計上 今後も大きな負担に



五一中を視察

23・24年度と連続して雪害があった五一中屋根の雪害対策として人夫による雪下ろしのための費用79万円が12月補正予算に計上された。これまで屋根の修理に保険適用とはいえ、約4,200万円かかっており、雪下ろし無しでは同様の被害が出ることを見越した対応となる。そのため来年度以降も雪下ろしのための経費計上が見込まれる。

委員からは「ヒーティングや散水なども検討すべき」「設計ミスではないか。改築予定の五小ではこのようなことがないように」と指摘した。

総務 常任委員会

町内会ワークショップが スタート



町内会ワークショップ

各町内会を訪問し、市町村未来づくりプログラムの説明と、10年後に目指す町内会の姿を話し合うため、町内会ワークショップを11月より開始した。12月10日現在、17町内会で実施し347人が出席、うち女性が40%と他の会議に比べると、女性の関心が高い。町では、地域の支えあい機能の充実を図るため、集会所の修繕や簡易物置の設置などに150万円、元気なムラづくり活動に100万円の補助金を交付することとし、その内容についても説明している。今後、町に補助金の申請書を提出していただき、平成26年度から28年度の3ヶ年で事業を実施する。

委員 ワークショップは17町



小型除雪機

(石井 光雅)

小型除雪機購入

冬期間における役場来庁者の安全を確保するため、除雪と庁舎屋根の落雪監視のための作業員1名(3ヶ月)の雇用と小型除雪機を購入し、通路や駐車場の安全確保に努める。

委員 町の業者による除雪はいなくなるのか。

当局 業者の大型除雪機と併用するものである。

内会で終了しているとのことだが、残りの町内会は年度内に終わるのか。

当局 年度内に終わることは難しい状況であり、4月以降も実施する。

26年度から幼保一体化し、新体制スタートへ



もりやまこども園（仮称）

五城目幼稚園・五城目保育園が平成26年度より幼保連携型の認定こども園「もりやまこども園（仮称）」としてスタートする。保育所保育を必要とする子も幼稚園教育を希望する子も受け入れて、教育と保育を一体的に行う。体制としては、園長が一人となり、幼稚園に在籍している職員5名が26年度から町行政に戻る。それにより必要な職員は法人が募集、採用する。また、建物は町所有から法人へ無償譲渡となる。町では認定こども園の担当課が未決定であり、これまで幼稚園は学校教育課、保育園は健康福祉課という体制であった。町では担当

窓口の一本化へ向けてこれから協議する。

灯油購入費を一部助成

健康福祉課では、灯油価格の高騰による低所得世帯の負担軽減を図るため1世帯あたり5,000円を助成する。約800世帯を想定している。対象となる世帯は、満70歳以上の高齢者世帯、ひとり親世帯、障害者（児）扶養世帯、生活保護世帯である。

5,000円の支給方法は灯油引換券を予定しており、町内の灯油取扱業者が対応する。委員からは「周知徹底し、もれないように」との意見が出た。



高騰する灯油

（佐藤 慶彦）

委員会の焦点

湖東農免道路 今冬は除雪をしない

今年の除雪費は、当初予算と補正予算で8,821万円が計上された。

委員 今年の除雪計画はどのようなになっているのか。

当局 基幹道路や幅員の狭くなった路線、見通しの悪い交差点、市街地の空き地などの排雪を積極的に行う。また雪捨て場の確保、マンホールの段差の解消、歩道はロータリー車で除雪する。

湖東農免道路については、近隣町村、地元町内会など関係機関と協議の結果、除雪しなくとも支障なしとの同意を得て除雪をしないこととした。今後も生活道路除雪を重視し、冬季使用しない道路を調査していく。

委員会としては、冬場の住民生活に支障が出ないような除雪体制に努めるよう指摘した。



看板が設置された湖東農免

改正される県営土地改良事業賦課金条例



小川口の工事予定地

五城目町県営土地改良事業経費の賦課金徴収に関する条例が、全部改正されることになった。

委員 なぜ条例を全部改正しなければならぬのか。

当局 現条例は湖東農免道路新設に伴う条例で、新たな条例は土地改良区に未加入の中山間地域の県営土地改良事業を進めることが出来るものであり、今後用排水路の整備、暗渠排水、溜池の整備などを計画している。

委員 今現在計画されている所はあるのか。

当局 小川口の水路施設の改修事業がある。

（佐々木仁茂）

一般質問

防災・減災対策として 緊急告知ラジオの導入を

町長 有用な手段であり調査費を計上したい

畑澤 「我が町は大きな災害がない。今後もあるはずがない。」この思い込みが大きな誤算を生むのではないか。安全・安心と言えるなら、更に安全・安心を重ねて強固な町にしていく事が、町を預る当局の姿勢である。

小坂町は既存のラジオ局を利用し、緊急告知ラジオ（災害情報伝達システム）を開始する。安価で維持管理も低コスト。エリアも最大16グループに設定可能で、特定したエリアの受信機のみを起動させる事ができる。スイッチが切られた状態でも自動的にスイッチが入り、速やかに緊急情報を聞くことができる。検討してはどうか。

町長 緊急連絡網の整備は当町でも必要と認識している。



畑澤 洋子
(公明党)



選挙は公正かつ適正な執行が求められる

病院、施設の不在者投票に「外部立合人」を

町長 選挙の公正かつ適正な執行に努めるため、積極的に外部立合人制を推進していく。

畑澤 県の特種詐欺の被害額が2億2,590万円になり、年間最多だった2004年を上回ったと報道された。警察に届けられた額以外に、被害にあっても届出していない事件も多いと思う。詐欺・悪質

商法には、さまざまな形態で多種にわたり、意外な方法でだまされる可能性がある。当町の被害はどうか。町独自の注意喚起はどうしているか。町の相談窓口と消費者ホットラインの電話番号を大きくプ

詐欺・悪質商法の被害対策に「相談窓口の電話」ステッカーに

一昨年には防災行政無線についての調査を実施した。整備には多額の経費がかかり、維持費も必要である。昨年8月からNTTドコモ・KDDI・ソフトバンクモバイルの

携帯3社より、緊急速報メールの配信を実施している。緊急告知ラジオは、通信網を整備するにあたり、有用な手段の一つと考える。

プリントしたステッカーなどを、電話近くに貼れるよう作成したらどうか。窓口職員を相手先との交渉に対応できるよう、研修会などにより資質の向上に努める市もある。

町長 役場で把握している相談は、24年度2件、25年度1件である。警察では詐欺・悪質商法だけの分類を数字で出していない。24年度は寸劇7回。パンフレット配布。25年度は広報にパンフレット全戸配布し、相談窓口と県生活センターの電話番号をのせている。提案について検討してみる。

職員研修を より充実したものとせよ

一般質問

町長

専門的要素の高い研修についてこれまでの
2名の枠を取り払い可能な限り受講させる



佐藤 慶彦
(会派に所属しない議員)

田んぼダム事業を検討せよ

佐藤 9月の台風18号にあったような大雨豪雨による床上・床下浸水、冠水による通行止めなどに対し、具体的な対策はあるか。

町長 すぐできるものについては関係者や関係団体と協議をし、大規模改修での対応が見込まれるものは調査していく。

佐藤 新潟県で10年以上前から取り組まれている、田んぼの貯水機能を生かす田んぼダム事業がある。雨が多量に降った時、田んぼに一時的に水を貯めてゆっくりと排水することで洪水・冠水被害を軽減する取り組みであり、かなりの成果を上げている。これは排水量と水位を自由に調整出来るダム用水位調整管を水尻に付けるだけであり、すぐ出来、安価で出来るため導入を検討すべきである。こういった先進的な事例を

知らなかったというのも問題である。職員に研修を受講させ、視察や勉強をさせる決断が必要である。

職員の育成は十分か

佐藤 来年度の職員研修を改善し、千葉にある市町村アカデミーなどの研修を受講させる職員の育成を図るべきだ。

町長 専門的要素の高い市町村アカデミー・国際文化アカデミーについて、25年度まで2名の枠であったが来年度から可能な限り受講希望のある職員を受講させる。

佐藤 今後10年でかなりの職員が入れ替わる。30代、40代が管理職になる準備を進めていくべきである。



下山内の豪雨被害

公共施設更新問題解決に向け、町施設の利用率を把握せよ

佐藤 公共施設の利用率は。

町長 各施設・各部屋の利用率での集計は行っていない。

佐藤 利用率という考え方がなく勉強不足である。利用率は施設の管理運営に関して非常に重要なデータとなり、今後公共施設更新問題において必要不可欠な判断材料となる。3月定例会において再確認する。

副町長 集計に向けて努力する。

旧馬小の今後の展開は

佐藤 地域活性化支援センターの今後の活用は。

町長 新規企業を啓発するセミナーや入居企業を支援するセミナー、町や施設をPRするイベントなどを開催し、入居者の確保、企業の立地などを促進していく。

佐藤 今後の膨大な維持費を考えると理想は更地であるが、事業が進みそれに沿う形で考えると、ファブラボ(3Dプリンターやレーザーカッターなど個人では買うには高価だが共同利用して、あらゆるもの

のづくりができる市民工房)も検討すべきである。

教育課題の対策は

佐藤 基礎学力を徹底するための課題として家庭学習が上げられていたが、その対策は。

教育長 町の小・中学校ともに家庭学習の時間が不足しているというデータが出ている。現在、県の総合教育センターに全国学力状況調査の結果を専門的に分析依頼しており、まもなく報告がある。課題克服に向けて今後の取り組みを生かせるものと期待している。

佐藤 五城目小学校改築基本構想検討委員会では市民開放型の図書館や電子黒板、タブレットについて話し合われたか。

教育長 電子黒板、タブレットについては話し合われている。

その他に
○町のフェイスブックの位置づけは。
○社会保障・福祉の分野に関してどのような構想があるか。
○要介護認定率が、高齢化率が同程度・以上の自治体より高いのはなぜか。
○入札方法の変更に関して。
質問しました。

一般質問

公園、街路樹の維持管理を

町長 樹形よりも安全第一



佐藤 重信
(青雲会)

ケヤキ並木の統一した剪定、整枝を行っているか

佐藤 新緑から紅葉まで町民の目を楽しませてくれているが住んでいる住民に迷惑をかけているのも事実だ。

一貫した方針があれば対処の仕方があると思うがどうか。

町長 標識や信号、案内看板などの視認性の確保、隣接する建物との関係などから樹形よりも安全第一としている。一律の剪定、整枝は難しい。その時々での対応となっている。

佐藤 矢場崎の街路樹が伐採されているが、その理由は。

町長 街路樹、街灯、出入口などについて可能な限り要望を設計に反映させた。街路樹は、伐採と残して欲しいとの意見が出され、再度集約し地元町内会と住民の意見を尊重

街路樹に関する条例制定を考えてはどうか

し、決定した。

佐藤 きちんとした方向性を見い出して景観、美観を考慮した剪定、伐採すべきではないか。そこに生活している住民の意見、苦情に対応する体制を整えるべきでないか。

町長 現時点では街路樹に対する考え方、意見が集約されていない。今後の住民の動向を見極めて対応する。

佐藤 森山森林公園内の木柵や標柱、樹木の支柱が朽ちている。危険な場所もあり、立ち入り禁止や通行止めなどの措置を取るべきでないか。美



ケヤキ並木

あきた未来づくり協働プロジェクトと併せた健康対策を

観上も好ましくない。
町長 県営事業で整備された所で来年度から3ヶ年事業で補修整備を計画している。トレッキングブームと町内外からのウォーキング、軽登山が増えている。施設の安全確保や美化整備に努めていく。

温水プールを利用した健康づくりを推進しよう

佐藤 ウォーキングコースなどを選定して起点からの距離の標柱を設けては。

町長 岩野入口に約3kmのウォーキングコースを選定し看板を設置している。コースの安全性などを考慮し検討する。

佐藤 西野橋から五城目橋まで北側道路が砂利道であるがジョギングやウォーキングなど

に最適である。舗装の予定は。
町長 河川管理者である県や町の複数の担当課にかかる提案であり関係機関と連絡をとり調査したい。

佐藤 TPPについて町長の所信を問う。
町長 関税撤廃によって町の基幹産業である農業は、影響が大きい。国では、減反の廃止などでTPP交渉をにらんだ競争力強化が狙いとなっている。

大規模経営を目指し、大規模農家の育成が図られるが、本町のような小規模農家が切り捨てられる可能性が高い。農業経営のみならず町経済や集落の維持も困難になり、影響は極めて大きい。

個別利益を擁護し環境負荷の少ない農業を世界に発信し、優位な交渉となるよう期待する。コメ政策転換への対応など関係機関との連携を図り、地域経済の維持・強化に向けた町政運営を推進する。

その他に
○アメシロがここ2、3年大量発生している。
適切な防除は。
○馬場目川沿いに植栽されている桜並木の管理は。
○AEDの周知、徹底。
質問しました。

一般質問

どんな災害を想定し、 どんな防災をするのか

町長 町民の意識向上を図る



齋藤 晋
(21期会)

災害についての町の考えは

齋藤 町が想定している災害はどのような災害か。

町長 地域防災計画では

- ① 台風
 - ② 大雨、洪水など豪雨
 - ③ 土石流・地すべり・崖崩れなど土砂災害
 - ④ 大雪、融雪など雪害
 - ⑤ 大規模火災
 - ⑥ 危険物の漏洩、流出、爆発など
 - ⑦ 地震、積雪日の地震災害などを想定している。
- 齋藤** 町が想定している災害に対し、どのような防災対策を想定しているのか。
- 町長** 想定している防災対策は
- ① 防災知識の普及
 - ② 自主防災組織などの育成
 - ③ 防災訓練の実施
 - ④ 防災情報の収集、伝達方法
 - ⑤ 各種災害の予防
 - ⑥ 避難計画の作成

などを想定し、いつでもどこでも起こりうる災害から人的、経済的被害を軽減する減災のための備えの充実を図り、防災に対する町民の意識向上を図ることが必要と考える。

齋藤 避難場所・避難所の看板は整備されているか。

町長 避難所に指定している施設24ヶ所の内、看板を設置している施設は10ヶ所。避難広場に指定されている広場は17ヶ所の内、看板を設置しているのは4ヶ所。未設置個所については来年度設置を進める。

齋藤 いざという時がいつ来るかわからないため普段の準備が必要だ。避難所・避難広場の看板を設置し、町が主導し町内会と相談し防災を充実してほしい。

除雪を確実に

齋藤 今年の除雪契約は昨年と同じか。

町長 除雪路線は4・1・9路線、13.7km。歩道除雪は22路線、22・2kmとなっている。委託業者は昨年と同じ8社である。今年は道幅の確保と圧雪の解消に努力したいと考えている。

また、生活道路確保を優先するため、各方面の協力を得て湖東農免は冬期間除雪をしない。

齋藤 通学路の確保・歩行者

のための歩道の除雪は大丈夫か。

町長 今まで町直営の歩行式除雪機を使用して除雪を行ってきた。しかし登下校時に除雪が間に合わなかったりした経緯もあり、歩道を除雪できる機械を有した委託業者があるか調査・確認し検討している。

除雪会議において、排雪を重点的に実施し、歩道除雪も効率的にできるように考えている。

齋藤 検討しますではなく、本当に歩道除雪を確実に今冬実施するのか。

町長 実施できるように対応する。

要望苦情の処理はどのよう

齋藤 町民から寄せられた要望・苦情は役場の中でどのように処理されているか。町長・副町長まで届いているのか。

町長 町に寄せられる要望・苦情は多岐にわたるため、基本的に関係各課の職員が処理しているのが通常であり、担当課長の指示により解決を図り、必要に応じ町長・副町長に報告している。

齋藤 町民から寄せられる要望・苦情は何処にも相談できないなど、切羽詰まって町に救いを求めていると思う。

予算がないからできないとか、言い訳を言って断ることは出来るが、皆で考え、どう

にか出来ないか考えるために、議会も協力したいと思う。町長の考えはどうか。

町長 町の施策として要望に応えるために議会の意見を伺い連携して課題解決を図っていくべきと考える。

齋藤 町は、今後ますます少子高齢化が進む。町は前例とか・前年通りとか・前任者の通りとか同じことをやっている、時代に追いつくことが出来ない。古いものを脱却し新たに挑戦することが大事である。

新しい町政に期待したい。



「僕たち・私たちの未来のくらし」

ドコモ絵画コンクール入選
五小三年渡邊大志君

その他に
○除雪機の大きさにより
単価が違う理由は。
○排雪場所の確保は出来たのか。

質問しました。

一般質問

高崎小沼・下川原地域の ほ場整備を

町長 地元の活動に期待



館岡 隆
(自民クラブ)

館岡 長年の地域課題であった用途地域の見直しが行なわれ農業振興地域編入が可能な状況になった。農業の大転換期である。当局は今日まで用途地域の制約をかけ、何一つ農業予算を投入しないできなかった。今回地元「夢」を実現すべく行政が先頭に立って県営ほ場整備事業を実現し、今後の農政に柔軟に対応できる集積可能な地域にすべきである。

町長 今後の地域農業の振興を図る面で大切である。

館岡 30年以上、行政が地域の農業振興にブレーキをかけてきた。その責任を果たすべきである。

消防統合見送り今後の見通しは

館岡 男鹿地区、湖東地区、五城目の統合を目ざして5年間、構成する市町村で協議してきたが統合見送りを決めた。何が問題だったのか、今後どうするのか、考えはあるのか。

町長 協議の再開は当面ない。今後、人口減少などの問題があれば再開するが時期は決まっていない。

館岡 以前に協議のあった湖東消防との統合を考えるべきである。

地域防災計画の見直し 危険箇所の把握は

館岡 県の発表によると、県内25市町村のうち、見直しするのは23市町村。五城目町と藤里の2町だけが未定である。行政の怠慢ではないか。

町長 県の計画の完成を待つて平成26年度中に修正する。危険箇所を周知する看板を立て対応する。

消防庁舎用地買収は極めて不透明 中身を明らかにすべきだ

館岡 用地選定取得までの流れが誠に異常である。町長が報告した「苦慮する」状況とは何をさすか。

町長 以前に用地関係者が同意して盛土工事をし仮換地処分がされたが登記されていないため、現状と登記箇所が異なる。多額の経費がかかる。

館岡 以前、議会に示された面積は6・5反歩、今回突然示された3反歩プラスの9・5反歩については、議会を経過していない。この土地はもともと庁舎建設には無理があった。契約内容を公開すべきである。

住民生活課長 1反歩田100万円、畑60万円、原野20万円である。

館岡 12月9日契約終了しているならば契約の内容を示すべきだ。

(翌日に、買収した用地の中に県有地が入っているとし金額を訂正する答弁があった。)



消防庁舎用地

情報公開せよ

館岡 一般町民から当局に対して、消防庁舎建設用地買収の過程をオープンにすべきと情報公開が求められているときが、真摯に対応したのか。

副町長 条例で請求に基づいて公開している。



一般質問

500人を超えた一人暮らし (65歳以上)の対策は

町長

高齢化率の高い地域であり緊急時通報などのシステム貸与などを実施する。



千田 峯夫
(会派に所属しない議員)

千田 516人の一人暮らしにより大きな人口減につながるものである。この一人暮らしを本町に留めることが、行政の責務であると思う。町長としてどのような考え、また、対策はあるのか。

町長 一人暮らし老人に対し、民生委員の訪問、社会福祉協議会の福祉委員や地域住民の見守り、また、市町村と協働で地域活性化に向け取り組む「秋田県市町村未来づくり協働プログラム」においても、高齢者が徒歩で歩ける程度の距離にある町内会単位の既存の集会所を気軽に参加できる地域活動健康づくり、世代間のふれあい、地域のみんなで支え、安心して暮らせる環境づくりに向け、支援していく。

高齢者支援住宅を整備しよう

千田 青森県新郷村で80代後半女性3名が掃除、洗濯、家事を分担しながら協同生活している。県と村がテストケースとして成功している。参考にする必要があると思うが。

町長 住み慣れた地域で健康、安心して暮らせることが、何より重要であると考えており、健康づくり、介護、医療、支え合い体制など、他県の先進事例を参考にしながら効果的な対策を講じる。

どういった病院をめざすのか

千田 湖東病院の今後の対応について地域密着型という町長の考えを問う。

町長 「地域密着型」という言葉を使ったのは「病院に来た患者だけを診る病院」ではなく、「安心で元気な地域づくりに貢献する病院」が新しい湖東病院に求められている。

来賓駐車場の配慮を

千田 文化の日の駐車場の配慮はどのように考えているのか。

またどのようにすると駐車場の解決が出来るのか考えたことはあるのか。

町長 私が町長になってからはNHK杯水泳大会と重なったことがなかったものと認識している。

今後は、事前に関係各課と日程調整など行い、事業が重ならないよう検討して参りたい。式典に出席される被表彰者・来賓の皆様に対しても、ご迷惑のかからないよう式典運営に努める所存である。



建築中の湖東病院

秋田県総合診療、家庭医養成プログラムによる総合内科研修病院として位置付けられていることから、地域に根ざし、住民の視点に立って、医療や介護の包括的なサービスを提供できる高齢者に優しい地域医療の中核病院の意味で「地域密着型病院」と言ったものである。

千田 町長の答弁は住民の視点とまったく相反する答弁である。住民は救急医療、手術の出来る「地域密着型病院」を望んでいる。今一度町長の考えを求める。

町長 医師確保に力を入れ、そのような態勢の病院にした。

その他に
○町長交際費の疑問について、町功労者の死亡「葬儀」に際して費用を総務課に置き換えるのは町長交際費に当るのではないか。
○本町の歴史認識を今一度ふりかえって見る必要があるのではないのか。

質問しました。

映像配信 システムが稼動

議会改革調査特別委員会

委員長 石川 交三

12月定例会より「議会映像配信システム」が稼動した。これまでは役場庁舎内の一部で音声のみの放送であったが、パソコンを開けば視聴することが出来るようになった。

当分の間、ライブ中継は庁舎内パソコンで放映し、録画中継は議会閉会后7日以内(土・日・祝日除く)に配信される。

録画中継の検索方法

町のホームページから議会トップページのリンクボタンで、議会展中継ページに移行する。

次の方法で検索できる。

- ① 定例会の本会議の名称
- ② 議員の氏名からの検索
- ③ 会派名からの検索
- ④ 用語からの検索



発言の残時間が表示された



モニターが設置された



サーバーなどの機材



タッチパネルで操作

議会改革調査特別委員会では、配信システムの導入にあたり、運用のための「五城目町議会の映像に関する要綱」策定について調査・議論を重ね、議員全体会に諮り決定した。骨子は次の通り。

- 議会を広く町民に公開し、より開かれた議会を実現する。
 - 定例会と臨時会の本会議映像を配信する。
 - 取り消された発言、秘密会などは配信しない。
 - 映像情報の所有権は議会に帰属する。
 - 自治法と議会会議規則に定める「会議録」ではないことを明示する。
- 町民多数の視聴が望まれる。

議員視察研修報告

「防災に学ぶ」

11月7日～10日

今回の研修の目的は防災を大きなテーマとしたものであり、東日本大震災の教訓から、防災教育の見直し、防災意識の



千代田区防災センター

改革等も含め、行政、議会、地域住民、企業、それぞれ役割をあらためて再確認できた研修となった。2日間は千葉

時での情報連絡システム等の説明、質疑応答。

また、千代田区立スポーツセンターでの避難所・防災訓練の現場視察も含めて防災全般にわたる研修となった。

今回の研修と併せて、我町の情報拠点となる市町村サテライトオフィス東京事務所・千代田区との交流のかけ橋となった佐竹神社の見学。最終日はふるさと五城目会の25周年記念総会に参加、交流を深めた。

いつか巡ってくる自然災害から地域住民の生命財産を守るため、この度の防災をテーマとした研修は貴重な体験となり、今後のまちづくりに大いに役立てたい。

参加議員

佐々木仁茂・齋藤 晋・石井 光雅
小林 正志・佐藤 慶彦・畑澤 洋子
伊藤 正春・荒川 達雄・佐藤 重信
館岡 隆・荒川 正己・千田 峯夫
石川 交三・工藤 卓美・澤田石亀雄
(荒川 達雄)

平成25年度

秋田県森林・林業・林産業 活性化推進議員連盟連絡協議会

総会

日時 平成25年11月21日

会場 秋田キャッスルホテル

森林・林業・木材産業を取り巻く厳しい状況の中、森林整備を着実に推進し、森林の多面的機能を持続的に発揮するとともに、林業の安定的発展と山林の活性化を図っていく。東日本大震災からの復旧・復興に向けて、復興資材としての木材の安定供給が求められていることから、そのための財源の確保を求める取り組みを進めていく必要があるとの活動計画が示された。

又、林活議員連盟が未結成であった、小坂町・潟上市・八郎潟町・男鹿市議会で議連を結成したことにより、県内25市町村議会に林活議員連盟が結成されたことが報告された。

出席議員

工藤 卓美・佐藤 重信・石井 光雅
館岡 隆・荒川 達雄

議会議員 全員協議会

平成25年11月15日

1. 報告案件
 - (1) 消防庁倉庫建設について
 - (2) 湖東総合病院改築事業に関する建設事業費補助額について
 - (3) 男鹿市・潟上市・南秋田郡消防広域化について
 - (4) 雇用と年金の接続に関する再任用制度について
2. その他
 - (1) 西野橋橋梁上部工補修工事について
 - (2) 地域の元気臨時交付金について
 - (3) 消費税の税率引き上げに伴う条例改正について

(石井 光雅)

請願 陳情

請願

採択

◆ TPP 交渉に関する請願

農民運動秋田県連合会

委員長 鈴木万亀夫
(紹介議員 石川 交三)

陳情

採択

◆ 日本国憲法をいかにし、安定した雇用の実現を求める陳情

秋田県労働組合総連合

議長 佐々木 章

採択

◆ 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書

秋田県医療労働組合総連合会

執行委員長 中村 秀也

採択

◆ 介護職員の処遇改善を求める陳情書

秋田県医療労働組合総連合会

執行委員長 中村 秀也

採択

◆ 医療・介護など社会保障の充実を国に求める意見書提出を要請する陳情書

秋田県社会保険推進協議会

会長 渡辺 淳

採択

◆ 年金2・5%の削減中止を求める陳情書

全日本年金者組合秋田県本部

湖東支部 支部長 土橋 茂

教育民生常任委員会得不採択となったが、本会議で質疑があり賛成多数で採択された。

継続審査

◆ 学校薬剤師報酬改善に関する陳情書

一般社団法人秋田県薬剤師会

会長 松田 泰之



TPPで原風景が守れるか！

意見書 送付

五城目町議会が議決した意見書を各関係機関に提出しました。

TPP交渉に関する意見書について

提案理由

TPP交渉の内容を国民に開示し、農産物重要5品目の関税撤廃が除外できない場合はTPP交渉から撤退することを求める。

提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三
内閣府特命担当大臣 甘利 明
農林水産大臣 林 芳正

日本国憲法をいかにし、安定した雇用の実現を求める意見書について

提案理由

安定した雇用制度と、非正規雇用労働者の差別的な待遇を改善し、労働者が安心して働き続けられる労働環境の整備を求める。

提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三
厚生労働大臣 田村 憲久

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書について

提案理由

医療・社会保障予算を先進国並みに増やし、持続可能な医療提供体制、安全・安心の医療・介護を実現することを求める。

提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三
厚生労働大臣 田村 憲久
財務大臣 麻生 太郎
文部科学大臣 下村 博文
総務大臣 新藤 義孝
秋田県知事 佐竹 敬久

介護職員の処遇改善を求める意見書について

提案理由

安全・安心の医療・介護実現のための介護職員の人材確保を求める。

提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三
厚生労働大臣 田村 憲久
財務大臣 麻生 太郎
秋田県知事 佐竹 敬久

医療・介護など社会保障の充実を国に求める意見書について

提案理由

社会保障制度の根本を変えてしまう制度の変更は止めることと、低所得者などへの減免制度を拡充し、国の責任と公的保険で、すべての人に安心の医療・介護を保障することを求める。

提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三
厚生労働大臣 田村 憲久

年金2・5%の削減中止を求める意見書について

提案理由

年金2・5%の削減に実施は、深刻な不況と生活苦の中にある高齢者の生活を圧迫し、悲惨な結果を招くことが危惧され、高齢者の生活と地域経済を守ることを求める。

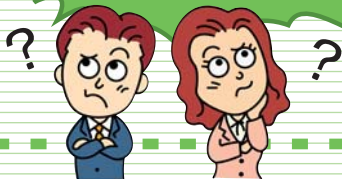
提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三
厚生労働大臣 田村 憲久

(伊藤 正春)



あれ



なんとになったべが!

平成24年12月定例会一般質問より

問

通年型農業実現のために冬季農業を推進しよう。

答

冬季の施設園芸は燃料費などコスト面からの採算性のリスクを負うが、専業農家や農業法人の取り組みが期待されている。施設導入への県補助事業の継続要望や、指導機関にはコスト低減策・栽培技術などを仰ぎ、推進を図っていく。

現在

ハウス施設を利用し、一部専業農家や農業法人が取り組んでいる。

ハウス施設への県補助事業活用では「園芸作物」への取り組みが必須条件となっており、事業導入経営体は栽培品目の選定を行いながら事業計画を実施している。推進のため施設導入経費の軽減を図る観点から県補助事業の継続を要望している。

問

馬場目小学校の活用策は?

答

基本的に「有効活用が図られること」「費用対効果」「民間能力を活用すること」の3点をあげて検討を進める。

現在

平成25年10月28日に「地域活性化支援センター」としてリニューアルオープンし、新たに起業する個人や団体を支援するとともに、地域産業の育成を図る施設として活用する。現在は旧保育園に1社、小学校には2社の入居を許可して

おり、今後も入居募集しPRや活性化に資するイベントを行っている。



旧馬場目保育園を視察

問

放課後学習支援を充実させよう。

答

五一中で実施している。25年度予算に講師確保と内容充実に必要な予算を計上する。

現在

英語と数学の2人の講師を確保し、週各1回2時間の学習支援を実施している。

問

脳脊髄液減少症の児童・生徒の実態は?

答

調査では症状のある児童・生徒はいない。教職員への知識の浸透を図り、研修機会の確保に努め、町民に情報提供したい。

現在

学校保健・安全指導に関する会議や3歳児健康診査などの機会を捉え、疾患についての情報を提供できるよう準備を進めている。

(石川 交三)



広 青苑
管理栄養士 小松 吟子ぎんこさん
(紀久栄町)



● 楽しいことは。

小松 食事は入居されている方々の、大きな楽しみの一つです。料理を通して季節を感じていただけるよう皆で力をあわせてがんばった後での「おいしかったよ」の言葉がいちばんうれしいです。

● 大変なことは。

小松 毎月の長寿祝いですが、郷土料理をお出ししていますが、味付などを入居者の方から聞いて作ることもあります。

● 町政、議会へのご意見を。

小松 全国的に高齢化がすすみ老人ホームへ入居希望される方が多くなっていますが、これからお年寄りが安心して生活していけるような対応をお願いしたいと思います。

● 仕事はどうですか。

小松 入職後、管理栄養士の資格をとり、栄養ケア計画、献立作成、行事食の企画等を担当しています。

● 勤めて何年ですか。

小松 19年目になります。少しでも地域のお年寄りのお手伝いをしたいと思い広青苑に入職しました。

(取材…畑澤洋子)

がんばってます



五一中2年
女子バスケットボール部
石井美珠みすずさん
(東磯ノ目)

私たちが五一中女子バスケットボール部は部員数が2人しかいないため、現在羽城中との合同チームで活動しています。

毎日の練習では、走り込みやデイフェンスを頑張っています。一つ一つの動きを素早くし、相手に自由に攻めさせないデイフェンスをすることに心がけて練習しています。また、練習を通して見つけた自分たちの弱点を克服するように努力しています。

春になり新入部員が入ると合同チームではなく、五一中として大会に出場することができます。

他の中学校との合同チームで戦うという、とても貴重な体験をさせていただいています。温かく受け入れてくれた方々のおかげで、今もこうして大好きなバスケットができます。支えてくれてる全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、一生懸命プレーしたいと思えます。これから多くの大会や試合で勝つために、どんなに辛い練習でもみんな大声をかけ合って頑張ります。

そして、この仲間と共に最高の思い出を作りたいです。

(取材…佐藤慶彦)

編集 後記



町民の皆様におかれましては、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年、国内においては2020年に東京でのオリンピック開催が決まり国民に明るい話題が提供されました。

今年秋田県で第29回国民文化祭が10月4日から開催され、当町においては朝市サミットが開かれます。全国から参加される方々を町民一丸となって「おもてなしの心」で歓迎し、サミットを成功させたいものです。

12月定例会から映像配信システムがスタートしました。議場内に3台のカメラと2台のモニターテレビが設置され、今後の本会議では中身の濃い白熱した議論の展開がさらに求められ、これまで以上に緊張感が増すことと思います。

広報編集委員会としてはこれから、「みんなの町議会」の広報誌と「映像配信システム」を活用し、町民の皆様へ、「開かれた議会の発信」に最大限努めてまいります。

広報編集委員長

佐々木仁茂 記